

# 5

## 現状の問題点を洗い出す経営改善

- 自社に十分な体力や余裕、強み等がない場合には、収益性の向上や生産性の向上に向けて、現状の問題点を見直す「経営改善」に取り組む必要があります。
- 経営改善や経営の見直しのためには、経営改善に向けた姿勢・行動を確立するとともに、資金面、人材面、情報面など様々な側面から取り組む必要があります。

### 姿勢・行動

#### 自助努力型の経営マインド

景気的好転や公共工事の増加などを期待するのではなく、自助努力型の経営マインド・姿勢が求められます。また、そのような姿勢を自社の社員に理解してもらい、醸成することが大切です。

#### 柔軟かつ機動的な取組み

自社の良き伝統・企業文化・やり方は引き継ぎながらも、それに過度にとらわれることなく、柔軟かつ機動的に見直しながら経営改善に取り組みましょう。

#### 継続的な取組み ～将来的なことも視野に～

経営改善・経営の見直しには、継続性や不断的な努力が重要なのはいうまでもありませんが、企業の存続や事業の承継、後継者の育成など将来的な課題も視野に入れることが大切です。

### 各側面からのアプローチ例



#### 資金面

新規借入れが可能かどうか、ここ数年の財務諸表の状況がどのようになっているかなど的確に認識するとともに、将来的な資金計画等を立てることが重要です。

#### 人材面

どんな業界でも「優秀な人材の確保・育成」は重要な経営課題ですが、とりわけ建設業は労働集約的な産業であるため、人材が企業業績を左右するといっても過言ではありません。「企業は人なり」です。

#### 情報面

常にアンテナを張り、経営改善に資する情報を積極的に収集することが重要です。その一環として、P11の「ワンストップサービスセンター事業」をはじめ各行政機関が実施している公的支援施策などを調べ、申請・活用してみましょう。

#### 技術面

工期の遅れがなく、労災事故などが発生しないことはもちろん、新工法の開発や施工品質の向上、コストダウン等を図ることが競争力アップにつながります。

上記のほかにも、研究開発面や購買・仕入面、営業面、サービス面など自社の実情に応じた様々な切り口・側面から、経営改善にアプローチしていただくことが大切です。